

属性認証検討SWGの検討状況

平成27年12月17日

- 平成28年1月より、個人番号カードの交付が開始。個人番号カード及び公的個人認証サービスの幅広い国民への普及等を通じて、一層の行政の効率化及び国民の利便性の向上を図る取組が重要。
- 本懇談会は、地方公共団体、国の機関、民間事業者の参加の下、システムや制度等の面から、個人番号カード及び公的個人認証サービスの具体的な普及推進策などについて検討するとともに、地方公共団体における個人番号の具体的な利活用方策等についての検討を実施。

個人番号カード・公的個人認証サービス等の利活用推進の 在り方に関する懇談会

座長：須藤 修(東京大学大学院 教授)

個人番号カード等の利活用検討WG

主査：須藤 修(東京大学大学院 教授)

- 1) 個人番号カードの具体的な利活用方策、セキュリティに配慮した普及推進策など
- 2) 地方公共団体における個人番号の具体的な利活用方策、海外在留者への行政サービスの提供の方法 等

公的個人認証サービス等を活用したICT利活用WG

主査：大山 永昭(東京工業大学 教授)

- 1) 下記における公的個人認証サービスの利活用推進策
①CATV等放送事業 ②郵便事業 ③通信事業
- 2) 国の行政機関における公的個人認証サービスの利活用推進策
- 3) その他官民の幅広い分野における公的個人認証サービスの利活用推進策、セキュリティ確保策

属性認証検討SWG

主査：手塚 悟(東京工科大学教授)

- ◆ 電子調達、電子私書箱における権限委任(属性認証)の仕組みの検討

スマートフォンへの利用者証明 機能ダウンロード検討SWG

主査：手塚 悟(東京工科大学教授)

- ◆ 個人番号カードに格納される利用者証明機能のスマートフォンへのダウンロードの仕組みの検討

..... 検討課題の議論の進捗状況に応じ、SWGを設置。

愛場 豊和	日本電気株式会社 公共システム開発本部 シニアマネージャー
新井 聡	株式会社エヌ・ティ・ティネオメイト ITビジネス本部 プラットフォームサービス推進部 電子認証サービス担当 主査
小木曾 稔	一般社団法人新経済連盟 事務局員
小田嶋 昭浩	株式会社帝国データバンク 業務推進部 ネットサービス課
小尾 高史	東京工業大学大学院 像情報工学研究所 准教授
柴垣 圭吾	一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 企画部部長
下江 達二	富士通株式会社 ミドルウェア事業本部 サービスマネジメント・ミドルウェア事業部第二開発部 シニアエキスパート
砂押 宏行	日本放送協会 営業局 専任局長
竹内 英二	一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 電子署名・認証センター センター長
手塚 悟	東京工科大学コンピュータサイエンス学部 教授
長尾 慎一郎	新日本有限責任監査法人 アドバイザリー事業部 シニアパートナー
中村 克巳	ジャパンネット株式会社 技術部長
中村 信次	株式会社日立製作所 公共システム事業部 公共戦略企画部 担当部長
西山 晃	セコムトラストシステムズ株式会社 プロフェッショナルサポート2部担当部長
宮内 宏	五番町法律事務所 弁護士
宮脇 勝哉	日本電子認証株式会社 総合管理部 システム管理室 副室長
山田 伸治	日本郵便株式会社 郵便・物流商品サービス企画部 部長
【関係省庁】	
信朝 裕行	内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室 IT利活用戦略推進官
山森 航太	法務省 民事局 商事課 補佐官
上坪 健治	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 室長補佐

SWG第1回 (10月27日)

- 電子署名法について
- 現在行われている属性認証について
- 実現を目標とするサービス等

SWG第2回 (11月26日)

- 前提となるシステムの概要(電子調達、電子私書箱等)
- 見直しの方向性

WG・親会 (12月)

- 属性認証SWG・利用者証明機能ダウンロード検討SWGからの報告
- 今後の進め方



必要に応じ、制度整備等

「日本再興戦略」改訂2015（平成27年6月30日）

個人番号カードの公的個人認証機能を活用し、官民で連携した仕組みを設け、**電子私書箱機能を活用した官民の証明書類の提出や引越・死亡等に係るワンストップサービス**や、テレビ・スマートフォン等を活用した電子的な行政手続等への多様なアクセスを、2017年1月のマイナポータルの運用開始に合わせて順次実現する。

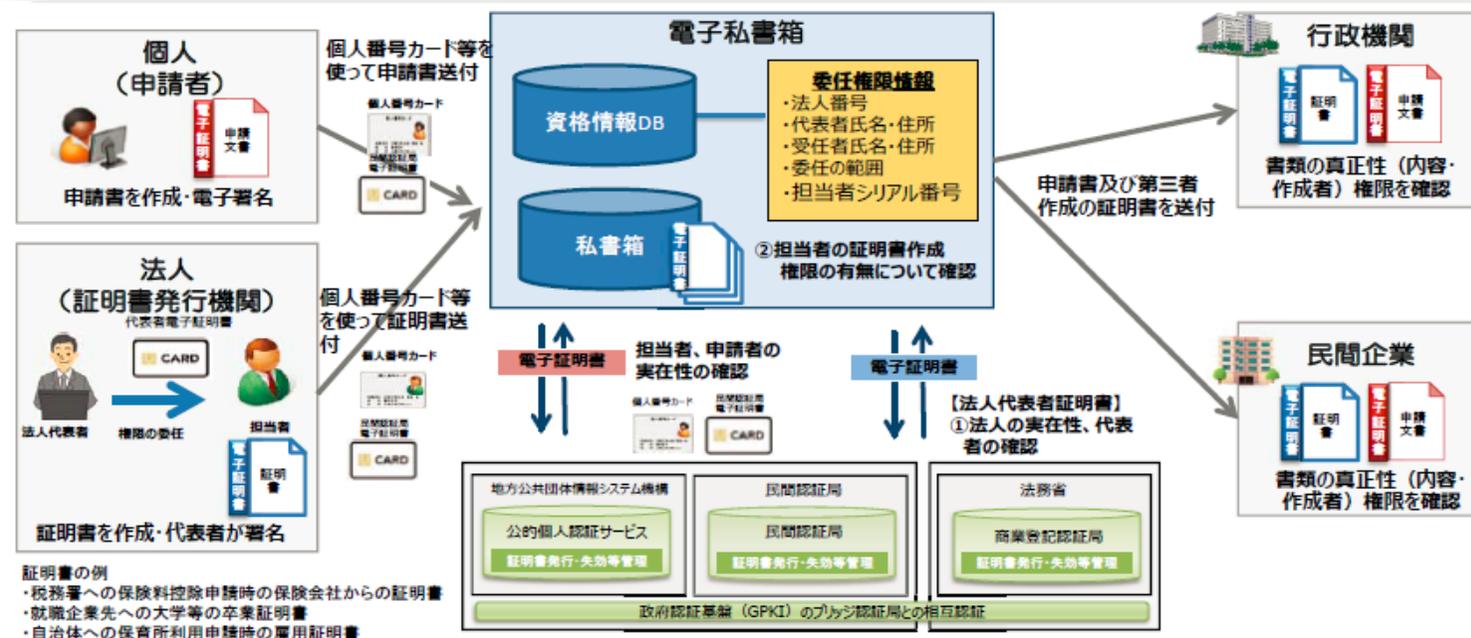
日本郵便「新しいデジタルメッセージサービスについて」（平成27年3月26日）

- Eメールでは送付が難しい重要な文書を、安全かつ受取人を厳格に特定して電子データで配信するサービス。
- 行政機関からの通知書、民間企業からの利用明細書、勤め先から給与明細の送付などでの利用が考えられる。
- 海外では多くの先進国で、郵便事業者が中心となってこうしたサービスを提供している。

個人等の依頼に基づき、
 「個人等による申請書」
 「第三者による証明書」
 を行政機関等に提供。

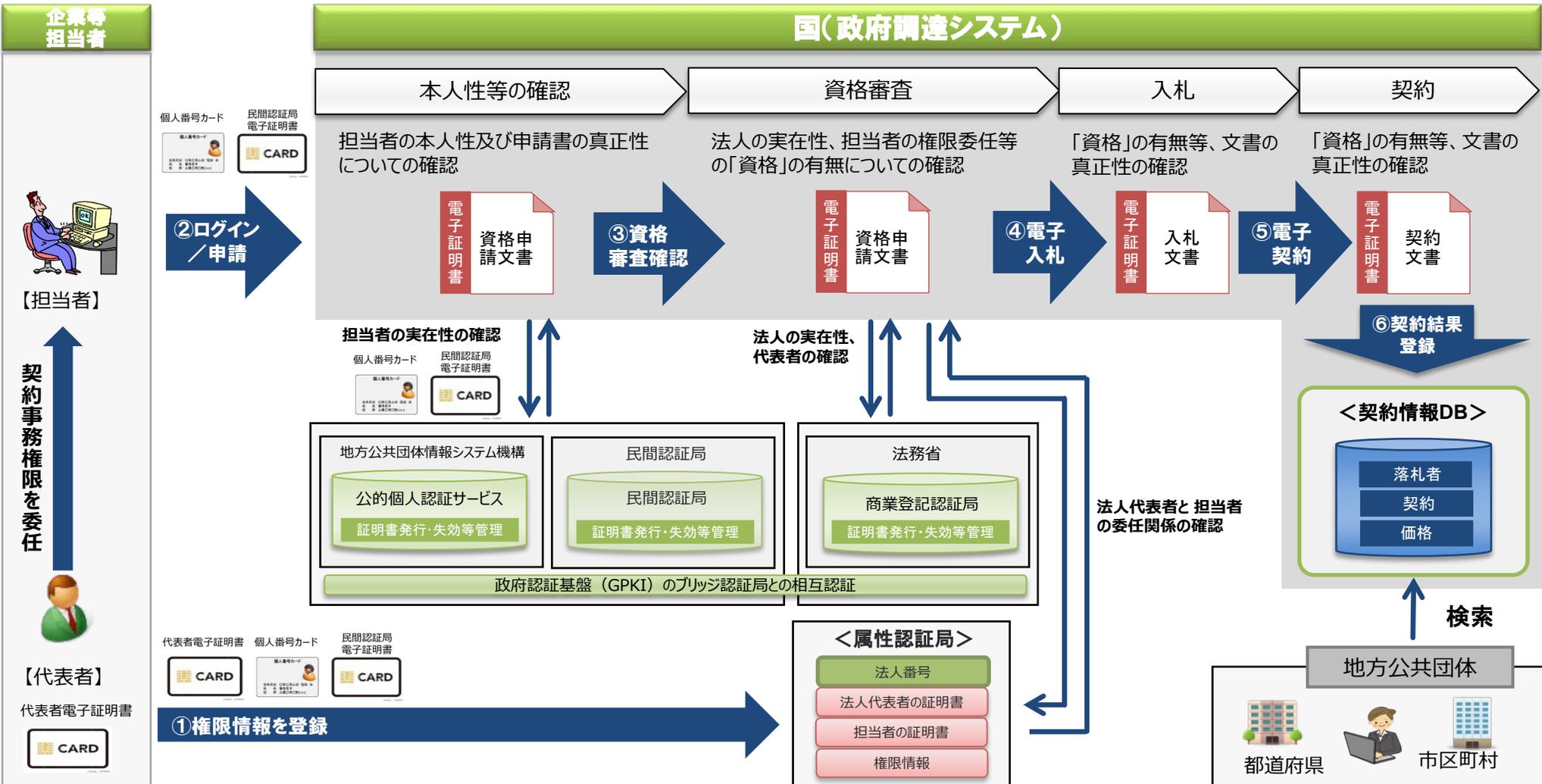


行政機関等が、
 「本人性」
 「属性（権限の委任）」
 を確認し、証明書を受領。



【概要】

法人の代表者から委任を受けた者が、対面・書面なく電子申請・電子契約等を行うことを可能とする制度的措置及びシステム構築に向けた検討を行い、個人番号カード及び法人番号を用いて、政府調達に関する入札参加資格審査から契約までの一貫した電子化を2017年度から順次開始する。また、入札資格情報や調達情報の国・地方公共団体間での共有や、調達情報の取得を容易にすることで、民間事業者による参入を促進するべく、2017年度から順次地方公共団体での上記システムの利用を可能とする。



経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定)

第2章 経済の好循環の拡大と中長期の発展に向けた重点課題 1 我が国の潜在力の強化と未来社会を見据えた改革
(IT・ロボットによる産業構造の改革)

「世界最高水準のIT利活用社会」の実現に向け、「世界最先端IT国家創造宣言」に基づく施策を着実に進める。(略) **個人番号カード、電子私書箱等を活用したワンストップサービスや政府調達の全工程の電子化等を通じ、公共サービスの改革を進める。**(略)

日本再興戦略 改訂2015 (平成27年6月30日閣議決定)

一. 日本産業再興プラン5. 世界最高水準のIT社会の実現

(3) 新たに講ずべき具体的施策 ii) 安全・安心を前提としたマイナンバー制度の活用

② 個人番号カードの普及・利活用の促進

(略) 2017年度以降の**個人番号カードのキャッシュカードやデビットカード、クレジットカードとしての利用**やATM等からのマイナポータルへのアクセスの実現に向けて、個人情報保護や金融犯罪の防止等が十分確保されることを前提に、民間事業者と検討を進める。加えて、**個人番号カードの公的個人認証機能について、2017年中のスマートフォンでの読み取り申請の実現や、2019年中の利用者証明機能のスマートフォンへのダウンロードを実現すべく、必要な技術開発及び関係者との協議を進める。**(略) また、個人番号カードにより提供されるサービスの多様化を図るために、**個人番号カードを利用した、住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄本等のコンビニ交付について、来年度中に実施団体の人口の合計が6千万人を超えることを目指す。**さらに、**住民票を有しない在留邦人への個人番号カードの交付や、海外転出後の公的個人認証機能の継続利用等のサービスの2019年度中の開始を目指し、検討を進める。**

④ マイナポータルを活用したワンストップサービスの提供

個人番号カードの公的個人認証機能を活用し、官民で連携した仕組みを設け、電子私書箱機能を活用した官民の証明書類の提出や引越・死亡等に係るワンストップサービスや、テレビ・スマートフォン等を活用した電子的な行政手続等への多様なアクセスを、2017年1月のマイナポータルの運用開始に合わせて順次実現する。

⑤ 個人番号カード及び法人番号を活用した官民の政府調達事務の効率化

法人の代表者から委任を受けた者が、対面・書面なく電子申請・電子契約等を行うことを可能とする制度的措置及びシステム構築に向けた検討を行い、個人番号カード及び法人番号を用いて、政府調達に関する入札参加資格審査から契約までの一貫した電子化を2017年度から順次開始する。また、入札資格情報や調達情報の国・地方公共団体間での共有や、調達情報の取得を容易にすることで、民間事業者による参入を促進すべく、2017年度から順次地方公共団体での上記システムの利用を可能とする。